

平成27年1月5日

加盟団体、特別加盟団体 各位

(公財) 日本セーリング連盟
ルール委員会
委員長 増田 開

特別講習会のご案内および募集

日頃より公認ジャッジ・アンパイアの認定等につきましてご協力頂き、誠にありがとうございます。

さて、ルール委員会ではスポーツマンシップの浸透に向け、選手や指導者に向け、様々な働きかけをしております。来年2月に、視野を広げて他競技団体から講師を招聘し、講演会を開催する運びとなりました。

つきましては、審判資格保有者に限らず、指導者、選手など広くご案内したく講演会の募集を行います。ご興味を示される方の是非ともご紹介頂きたく、お願い致します。

記

1. 開催日時 : 2015年2月22日 13:30 ~ 15:00
2. 開催場所 : 東京夢の島マリーナ 2F会議室
3. 講演者 : Jリーグ 公式審判員
4. 参加費用 : 2,000円
5. 定員 : 100名
6. 申込方法 : 別添申込書にて下記宛に送付ください。(2月6日締切)

定員を超える場合には、先着順にて締め切ります。

eMail の場合 rrc@jsaf.or.jp

Fax の場合 03-3481-0414

郵送の場合 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

日本セーリング連盟 ルール委員会 (担当松原/川北)

以上

講師 西村雄一氏プロフィール

2014年のFIFAワールドカップブラジル大会で、日本人で初めて開幕戦のブラジル - クロアチア戦（6月12日、アレーナ・デ・サンパウロ）の主審を務めた。次いでホンジュラス - エクアドル戦（6月20日）の第四審判、最終的に3位決定戦のブラジル - オランダ戦の第4審を務めた。

経歴

サラリーマン生活を送りながらアマチュアの試合で審判を続け、[1999年](#)に1級審判員として登録され、さらに[2004年](#)からはスペシャルレフェリー（SR、現・[プロフェッショナルレフェリー](#)：PR）として登録され、[Jリーグ](#)を含む国内試合の審判員および国際主審として活動している。[2007年](#)7月に行われた[AFCアジアカップ](#)や8 - 9月に行われた[U-17W杯](#)に副審の相樂亨とともに派遣され、U-17W杯ではFIFA主催の大会としては日本人初となる決勝の主審を務めた。また、[2006・2008年度](#)の[天皇杯](#)決勝や、2006・2007年の[J1・J2入れ替え戦](#)第2戦で主審を務めるなど、国内外でキャリアを重ねている。

エピソード

[デイリーサッカーニュース Foot!](#)に出演した際のインタビューで、自身のレフェリングの基準について「気持ちは攻撃側なんですけど、ファールを見極める目は実はディフェンスの（ディフェンスがどうするからファールになるのかという）行為を見ている」と語り、いわゆるファールの多い選手については「どうしてもカードが多くなる選手が中盤の選手でいるとします。でもその選手は監督の指示でチームの役割として、相手の動きを止めてくれと言われている。そういう指示のもとなので、その選手が悪いわけじゃなくて行為が悪いと」と語り、選手に対しては“[性善説](#)”で接するようにしているという。

笛は自身も開発に関与した[モルテン](#)の[バルキーン](#)を使用している。

Jリーグは選手が接触すると簡単に笛が鳴ると言われているが、ワールドカップでは「違う基準で笛を吹いたのか？」という問いかけに対して、「基準は変えていない、接触して選手が倒れたらルール上笛を吹くしかない、しかし海外では接触しても選手が簡単に倒れないので必然的に笛が鳴らないシーンが増えた」と答えている。

ワールドカップ決勝の第4の審判を務めたので純金の決勝審判記念メダルをFIFAより授与された。

2011年には、[国際サッカー歴史統計連盟](#)（IFFHS）が選ぶ4半世紀の優秀

な審判において、第 83 位に選ばれた。

申込書

申込団体名 _____

申込責任者 _____

連絡先 (Mail) _____ (TEL) _____

	参加者氏名		参加者氏名
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

送付先 eMail の場合 rrc@jsaf.or.jp

Fax の場合 03-3481-0414

郵送の場合 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1

日本セーリング連盟 ルール委員会 (担当松原/川北)

2月6日締切)